

誤魔化せるよ



東郷 潤

ある日、人を傷つけてしまいました。



こんなにひどいことをするつもりは無かったのです。後悔の気持ちがありました。ⁱ

後悔は嫌なものです。



おまけに、他人に見られてしまいました。
大変！ なんとか誤魔化す方法は無いでしょうか？

それが、あるんです。この教えを使う
んです。



え？ 相手が悪人じゃなければ、駄目
だろうって？ いえいえ、善悪はたっ
た二分類。とても大雑把だから、誰を
悪人（または善人）にするのも簡単で
す。「適当に善悪を決めて、それを信じ
る」…それだけのことなのです。

彼女を殴ったのは愛を裏切ったから。つまり、悪いことをしたからさ。俺は正しいことをしたんだよ。

な、悪いのはお前だよな



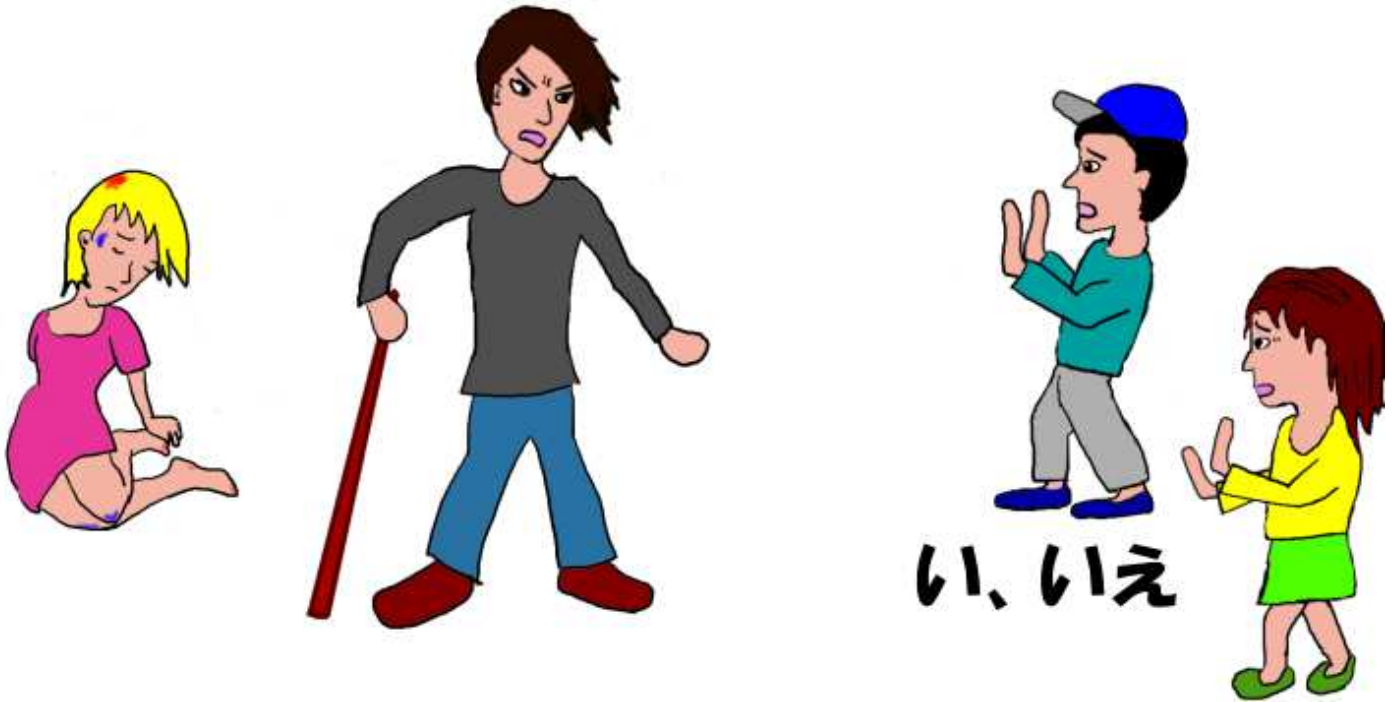
は、はい



ええ！？
本当かなあ？

相手を悪いと信じたなら、自分が後悔することはありません。

俺が悪いって
いうのか!?



あとはそれを信じて、押し通すだけ。

ああ、善悪は、なんて便利で魅力的な
のでしょう！



あとがき —絵本「誤魔化せるよ」

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、お友達なりにご紹介して頂ければ幸いです。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2011

i注；この絵は、絵本「恋人を愛しなさい」で使用したものです。この絵本「誤魔化せるよ」は、「恋人を愛しなさい」の補完的な心理説明とお考えいただくことも出来るでしょう。